

SAPPORO

札幌市IR資料

平成26年10月27日 合同IR説明会



目 次

1. 札幌市の財政

・平成25年度一般会計決算～収支の状況・歳入～	4	・健全化判断比率	11
・平成25年度一般会計決算 ～市税収入～	5	・基金の状況	12
・平成25年度一般会計決算 ～歳出～	6	・土地開発公社／特別会計(国民健康保険会計)	13
・義務的経費	7	・企業会計	14
・投資的経費	8	・発行実績	15
・たゆまぬ行財政改革 ～目標と進捗状況～	9	・発行計画	16
・市債残高の推移	10	・起債運営と信用力	17

2. 札幌市の概要・主要施策

・札幌市のプロフィール	19	・札幌のポテンシャル② ～企業誘致～	23
・札幌市の人口	20	・札幌のポテンシャル③ ～北海道新幹線の延伸～	24
・私たちが目指す札幌市の将来 ～まちづくり戦略ビジョンの策定～	21	・札幌の観光 ～1,500万人を目指して～	25
・札幌のポテンシャル① ～食の海外進出～	22	・道内連携 ～北海道の発展なくして、札幌の発展はない～	26
		・札幌市債に関するお問い合わせ	27



1.

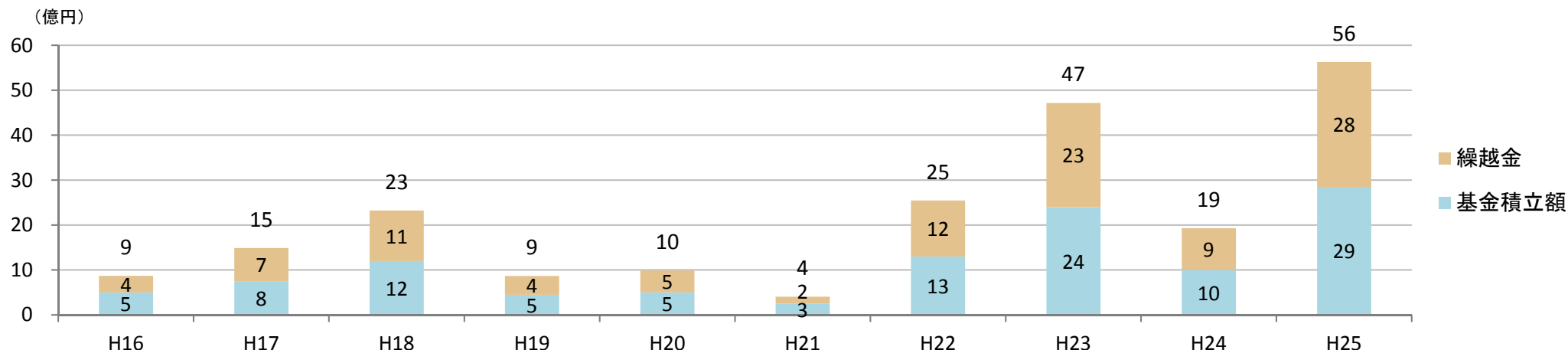
札幌市の財政



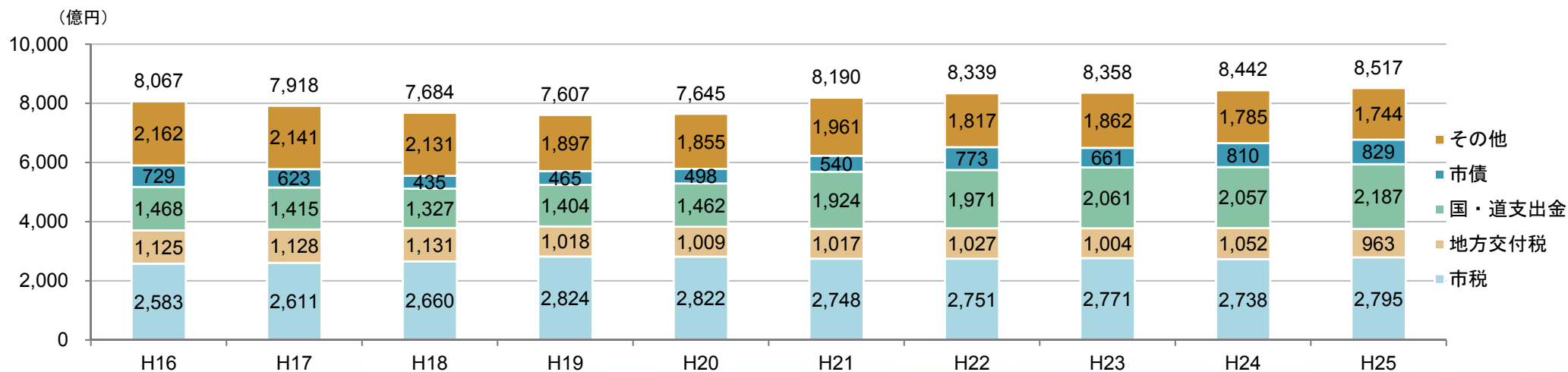
平成25年度一般会計決算 ～収支の状況・歳入～

- 実質収支は近年では最大の約56億円。およそ半分を財政調整基金へ積立て
- 平成25年度決算における歳入は、前年度比0.9%増の8,517億円
- 市税収入や国庫支出金が増となった一方で、地方交付税は前年度から8.5%減少しました

実質収支(決算剰余金)の推移

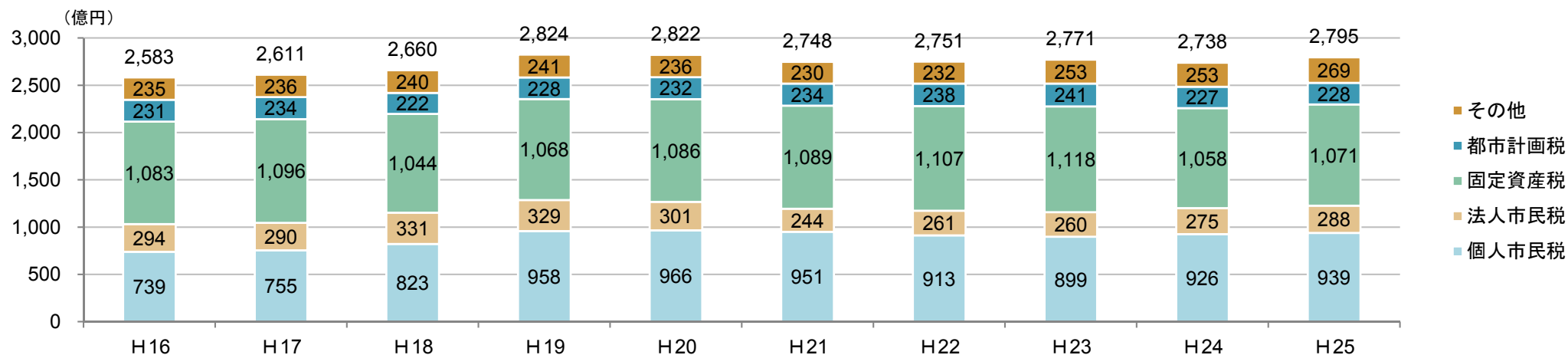


歳入の内訳

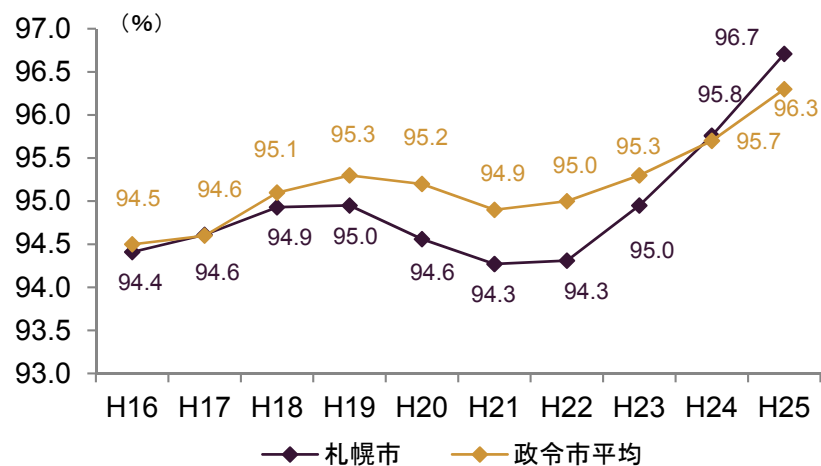


平成25年度一般会計決算 ～市税収入～

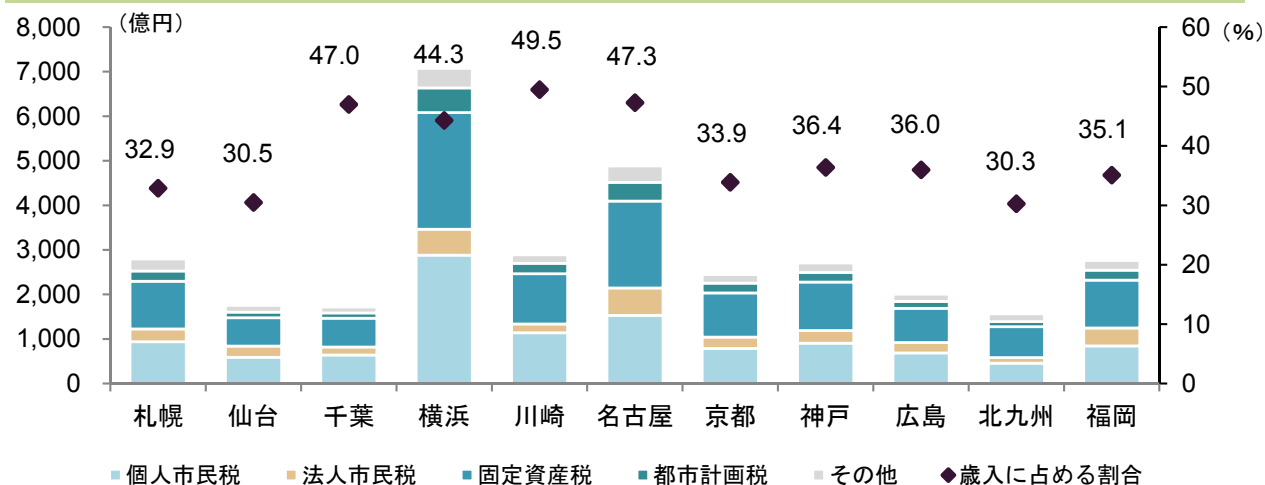
- 市税収入は前年度から57億円の増
- 滞納整理を強化し、収納率は政令市平均を上回る水準
- しかしながら、依然として、歳入に占める税収の割合は低く、税源の更なる涵養が課題



市税収入率の推移



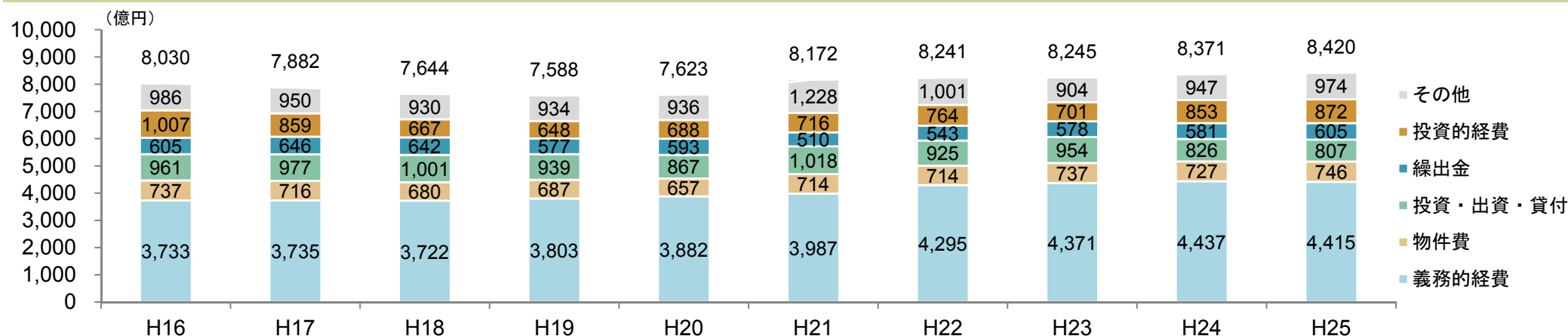
平成25年度決算における各都市の税収構造



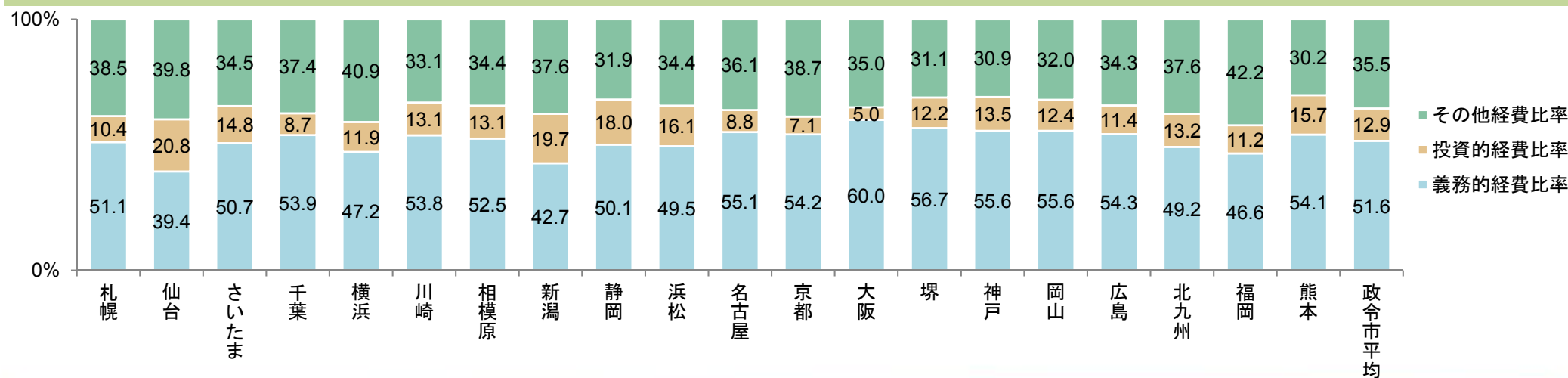
平成25年度一般会計決算 ～歳出～

- 歳出総額は前年度比0.6%減の8,420億円
- 人件費や公債費などの減により義務的経費が7年ぶりに減少した一方で、市中心部の再開発経費や学校の耐震改修などで投資的経費の増えている

一般会計歳出の推移



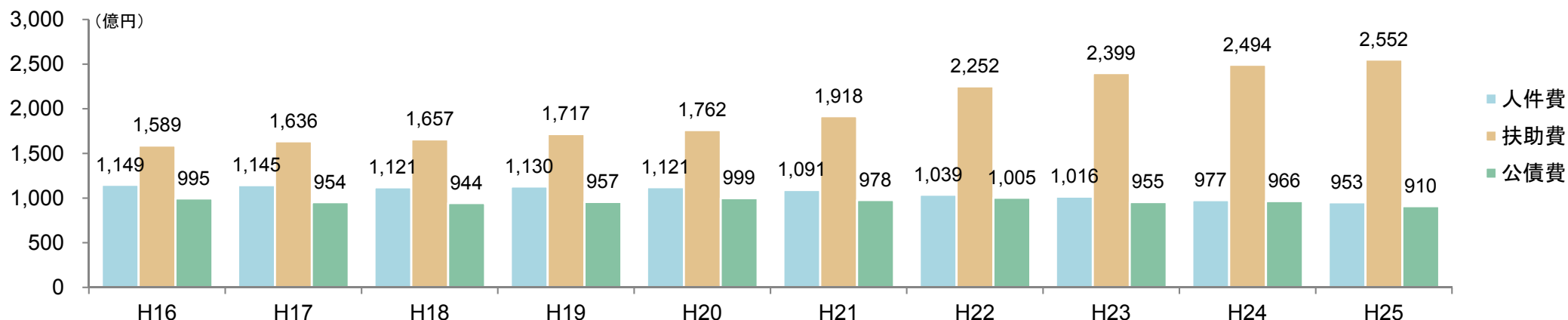
政令市の歳出の比較



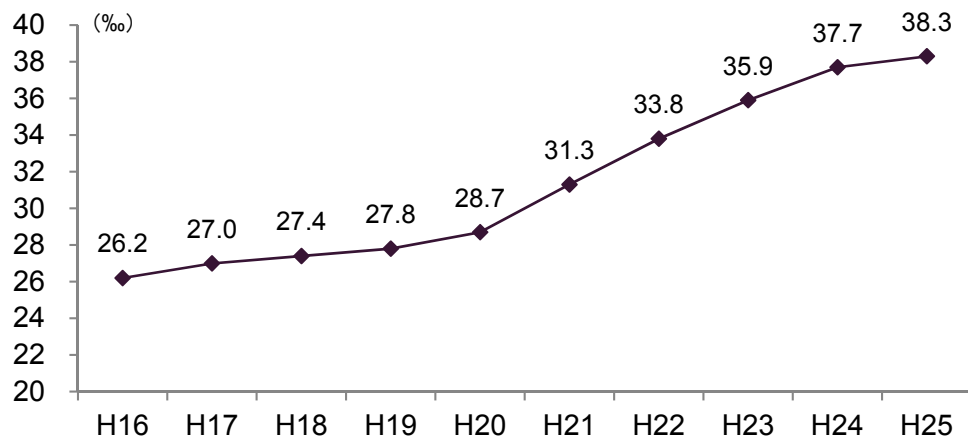
義務的経費

- 扶助費は、生活保護費の増などで増加傾向が続いている
- 職員の数、他の政令市と比較して低水準。退職手当等の見直しや職員の平均年齢の若年化などの影響で、人件費は6年連続で減少している

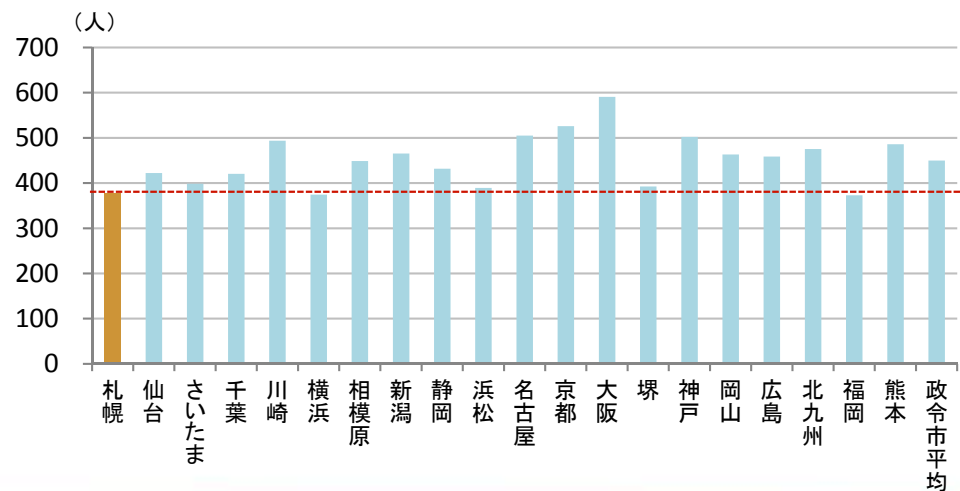
義務的経費の推移



札幌市の生活保護率



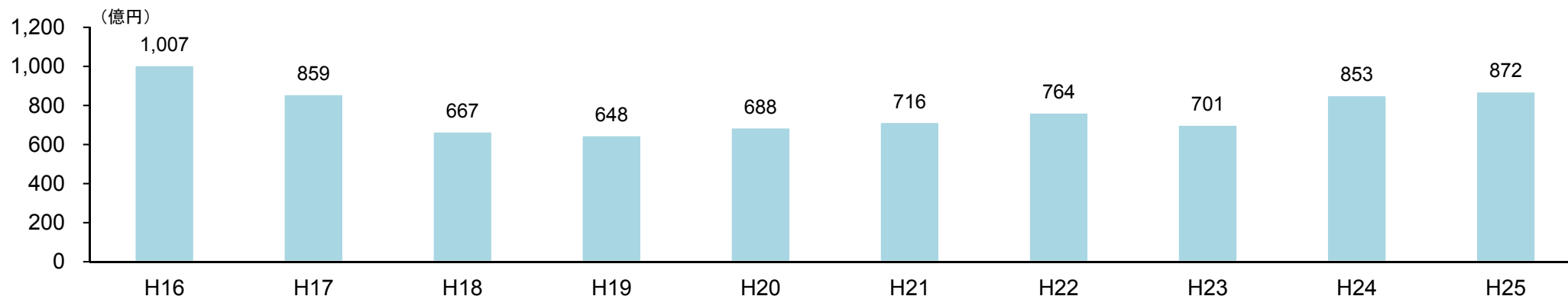
市民10万人あたりの職員数(一般行政職員)



投資的経費

- 投資的経費は、前年度から19億円の増
- 学校施設の耐震化や道路等の整備のほか、市内中心部の再整備事業が進んでいる

投資的経費の推移



路面電車のループ化

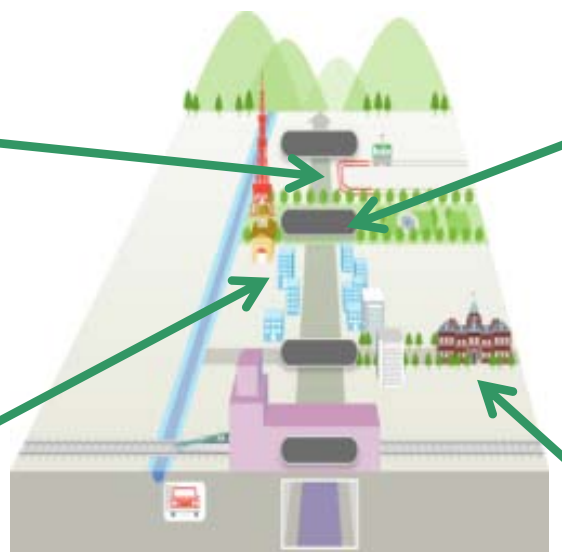


新型低床車両の導入及び
すすきの～大通地区の
路ループ化
平成26年度工事予定
※2013グッドデザイン賞受賞

市民交流複合施設の整備



文化・芸術活動の拠点、
市民の交流の場の整備
平成29年度完成予定
※整備イメージ
(2,300席のホール)



大通交流拠点の整備



民間ビル等と連携、札幌駅前通
と大通との地下交差部をリ
ニューアル
平成27年春完成予定
※整備イメージ

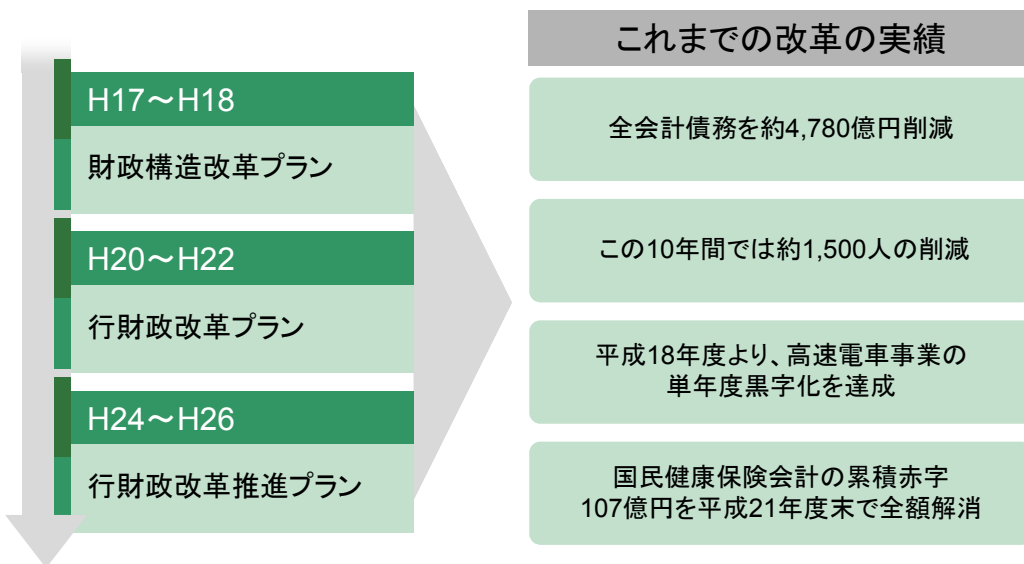
北3条広場「アカプラ」



道庁赤れんが～札幌駅前通に
繋がる北3条通の整備
※平成26年7月19日オープン

たゆまぬ行財政改革 ～目標と進捗状況～

- 平成17年～18年の財政構造改革プラン、平成20年～22年の行財政改革プランにおいて、約1,300億円の見直し効果を達成
- 持続可能な財政構造の確立と、重点分野への資源配分の見直しを目的として、「行財政改革推進プラン(平成24年～26年)」を策定



行財政改革推進プラン(H24～H26)

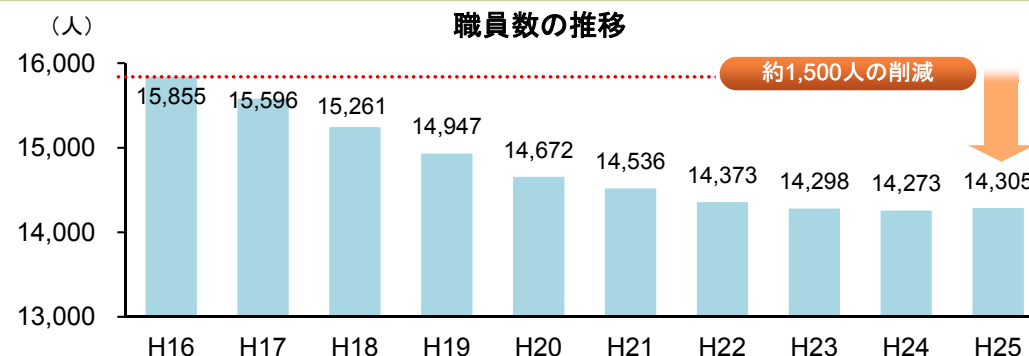
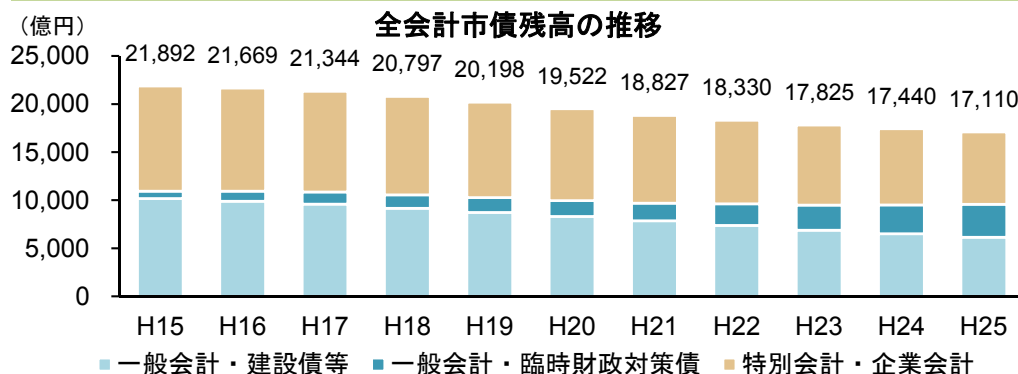
(単位: 億円)

項目	プラン効果額	主な取組内容
組織運営の効率化	146	事務的経費の節約、民間委託の促進等
財産の有効活用	272	土地の貸付・売却、基金取崩
資源配分の見直し	30	既存の事業費の縮減
収入基盤の強化	72	滞納整理の強化等
見直し効果額合計	520	

ベンチマークの状況

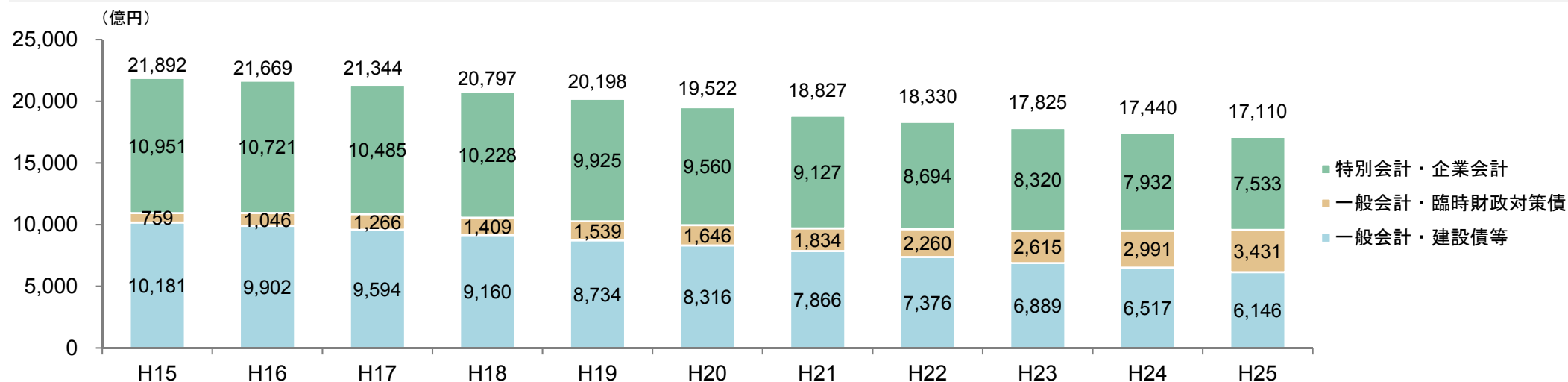
項目	目標	H25決算値
全会計市債残高	22年度末>26年度末 (1兆8,330億円未満)	1兆7,110億円
財政調整基金残高	100億円程度を維持	175億円
経常収支比率	政令市平均を下回る水準	92.3%(政令市平均94.6%)
自主財源 (繰入金、貸付金元利収入等を除く)	22年度決算と同程度 (39.2%)	38.9%

継続される取り組み

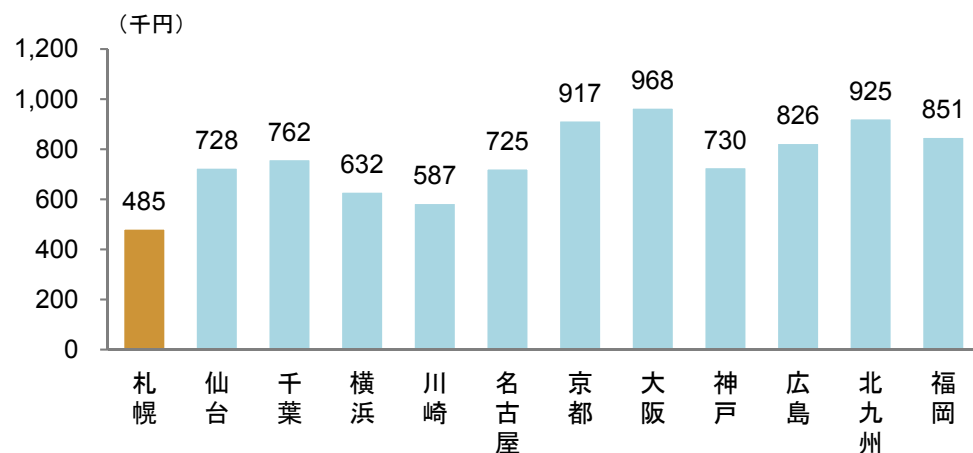


市債残高の推移

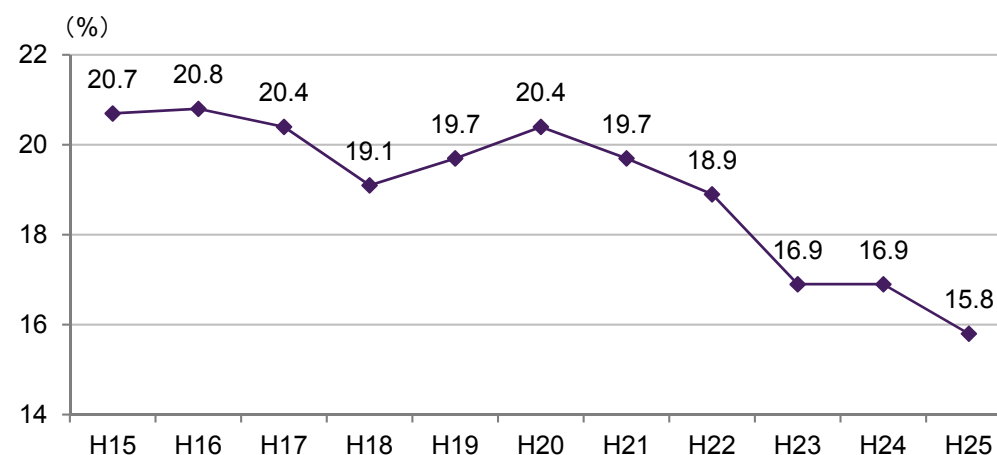
- 全会計ベースでの市債残高は、10年連続で減少している
- 一般会計では、建設債等の残高が減少している一方で、臨時財政対策債の発行額が増えているため、一般会計の市債残高は69億円の増となった



旧12政令市：市民一人あたりの市債残高



公債費負担比率の推移

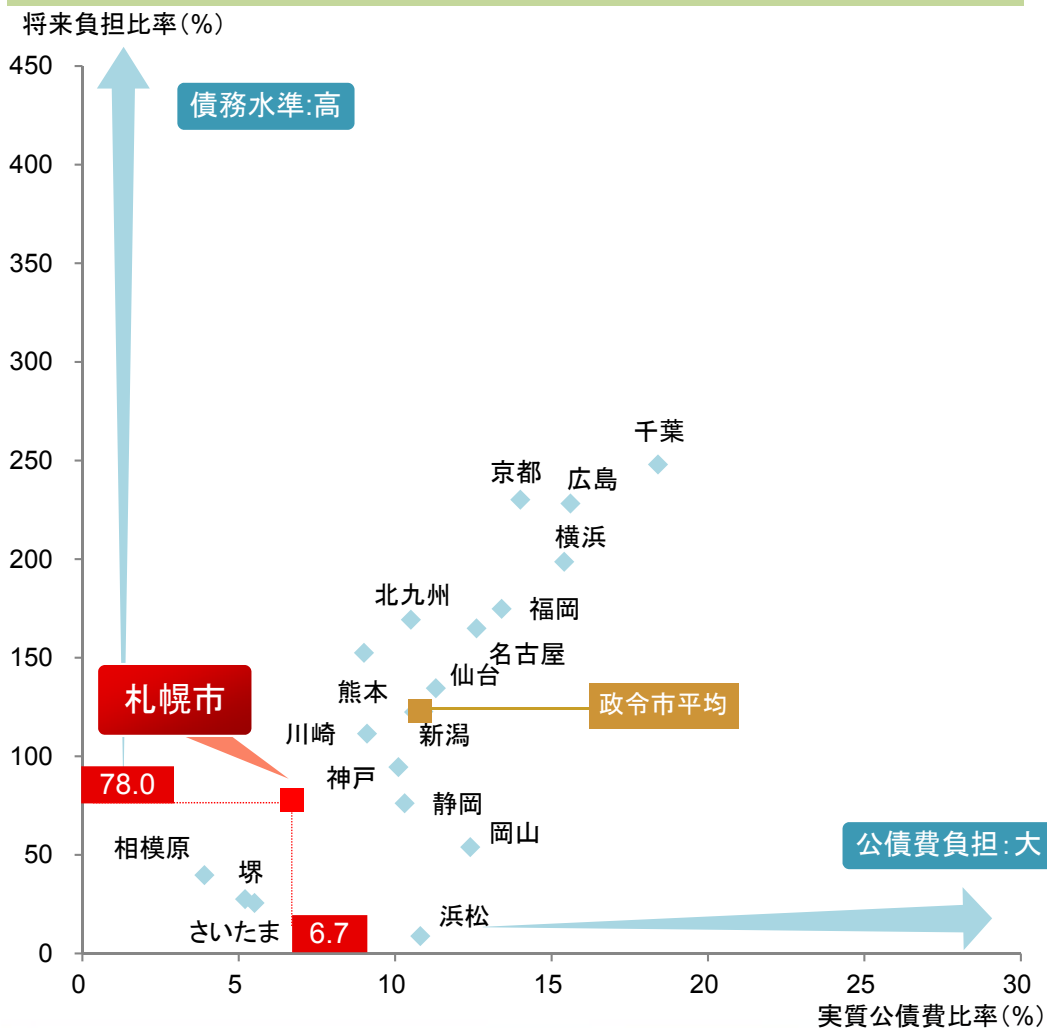


出典：平成25年度地方財政状況調査

健全化判断比率

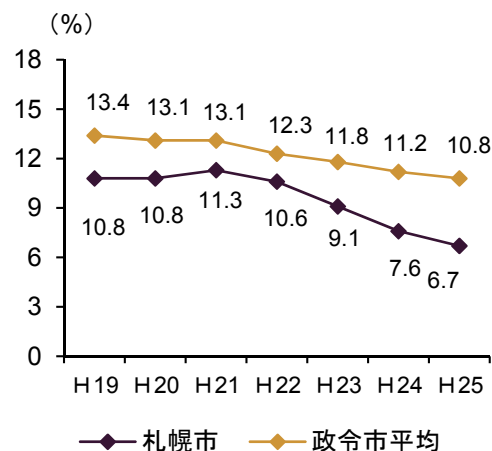
- これまでの継続的な取組みにより、実質公債費比率・将来負担比率ともに好転
- 今後も財政規律の維持に努め、健全な水準を維持

政令市の財政健全化判断比率(平成25年度)

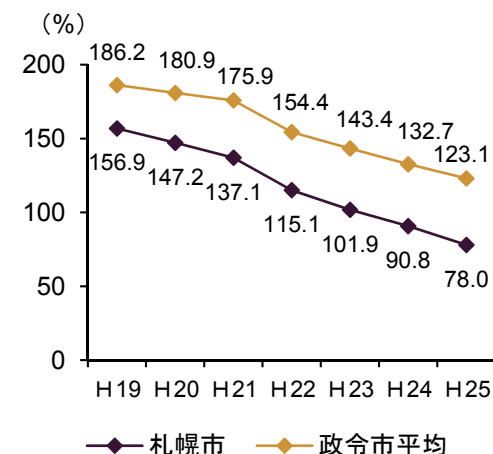


札幌市の健全化判断比率の推移

実質公債費比率



将来負担比率

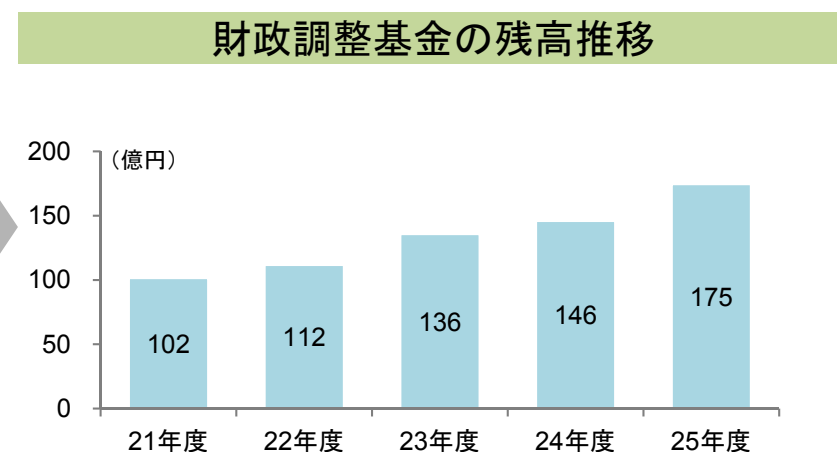
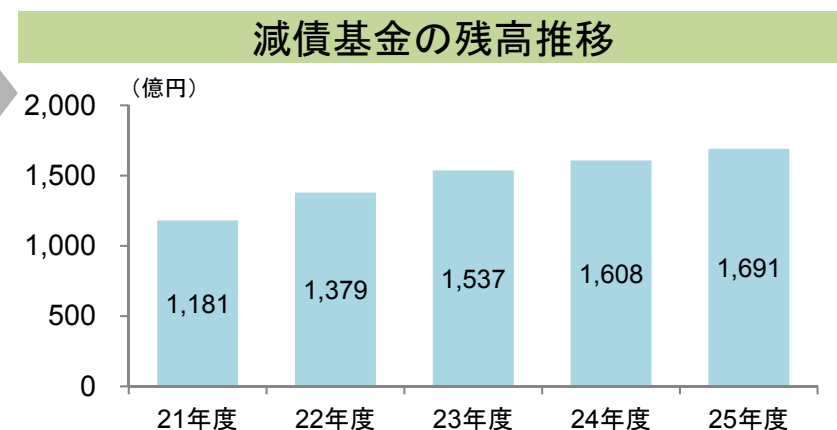
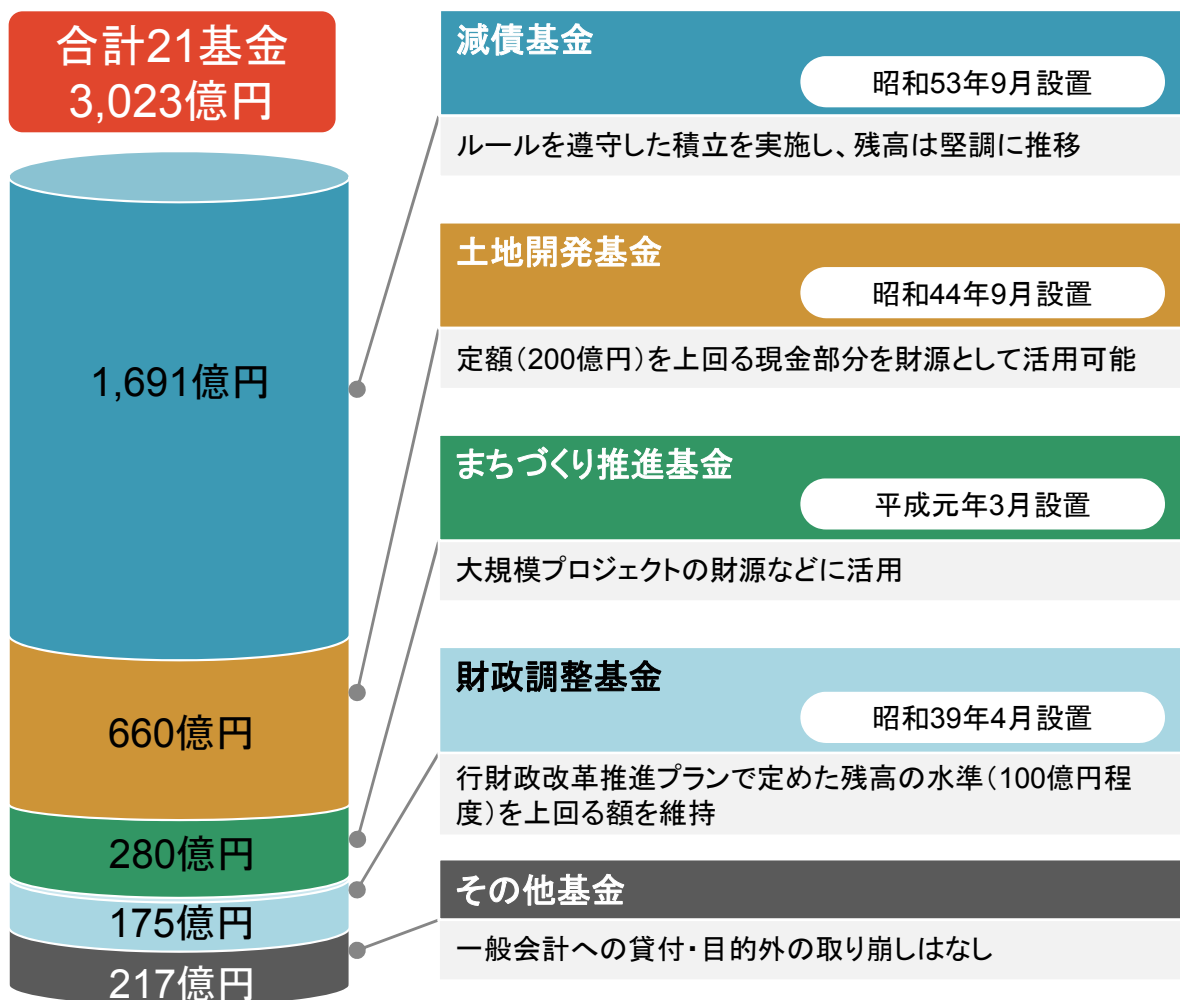


その他の指標

- 本市一般会計において、実質赤字比率・連結実質赤字比率ともに「－」(赤字は発生していない)となっている
- すべての企業会計について、資金不足比率は「－」(資金不足は発生していない)となっている

基金の状況

- 21基金を設置。平成25年度末時点の残高は約3,023億円
- 基金の設置目的から外れる貸付・取崩しは一切行っていない



土地開発公社／特別会計(国民健康保険会計)

- 本市の土地開発公社は、平成26年4月に解散、同年8月をもって清算結了。三セク債を発行する必要なし
- 札幌市には7つの特別会計がある。国民健康保険会計は、平成21年度には累積赤字を解消し、以降は黒字で推移している

土地開発公社の解散

- 平成17年9月に『札幌市出資団体改革プラン』を策定し、土地開発公社については、市への保有地引渡し完了時点で廃止する方針を決定した
- 平成18年3月に『札幌市土地開発公社改革プラン』に策定し、平成26年度を目途に解散することを決定

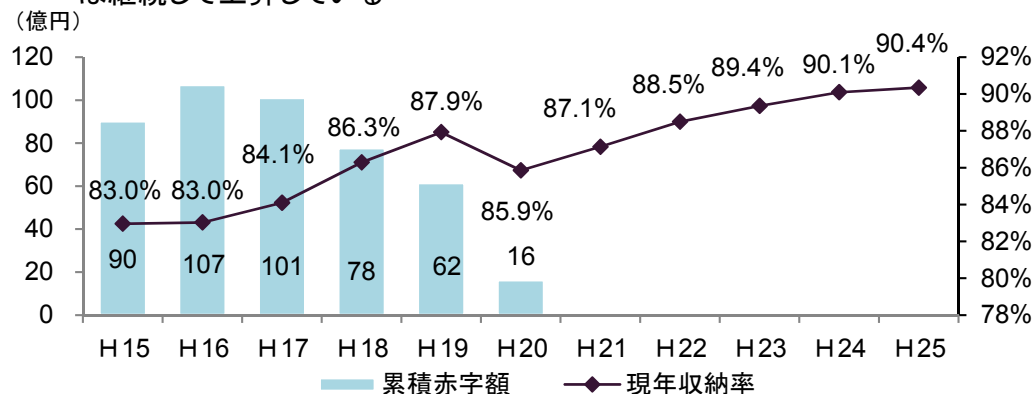
土地開発公社改革プランの実施経過

- 平成18年度から公社による先行取得は廃止
- 平成20年度には、市からの派遣職員の引き揚げを完了
- 金融機関からの借入金に対する返済を優先させることで、金利負担を軽減
- 市からの借入金については、平成25年度で返済を完了。なおも発生した残余財産は市へ帰属

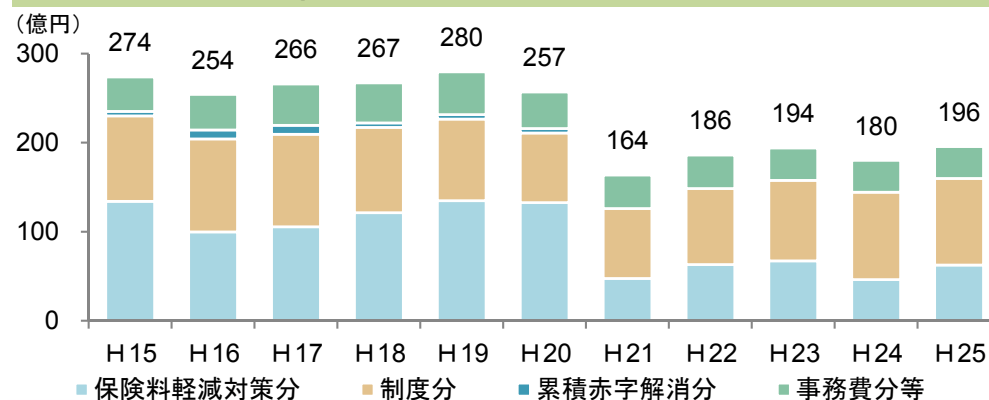
計画的に進めることができた結果、
第三セクター改革推進債を発行することなく清算結了

国民健康保険の収支の状況

- 収納率向上などの歳入増等により、平成21年度決算において累積赤字を全額解消
- 保険料滞納の未然防止の取組みなどにより、収納率は平成21年度以降は継続して上昇している



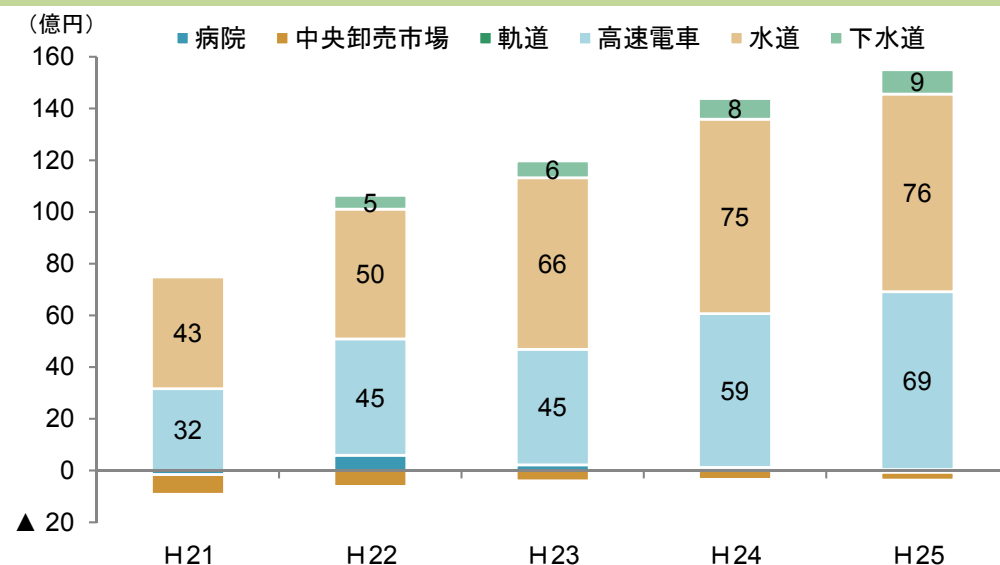
国民健康保険会計に対する繰出金の推移



企業会計

- 企業会計は、全部で6つ
- 高速電車事業(地下鉄)については、経営改善に向けた取組の結果、平成18年度には営業収支、経常収支ともに黒字を達成

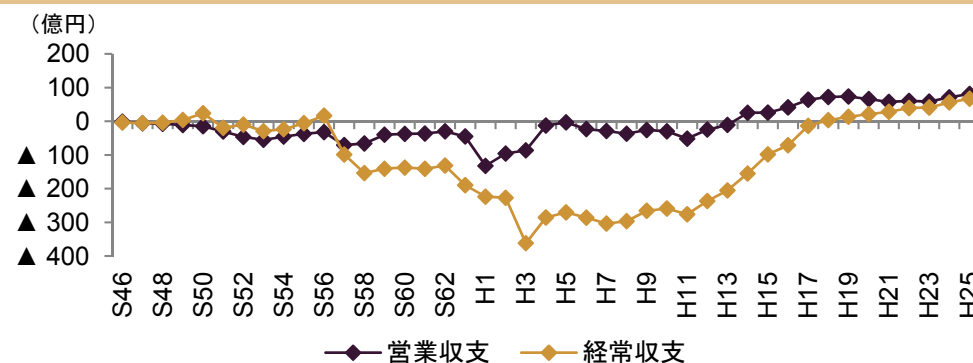
企業会計の収益的収支の推移



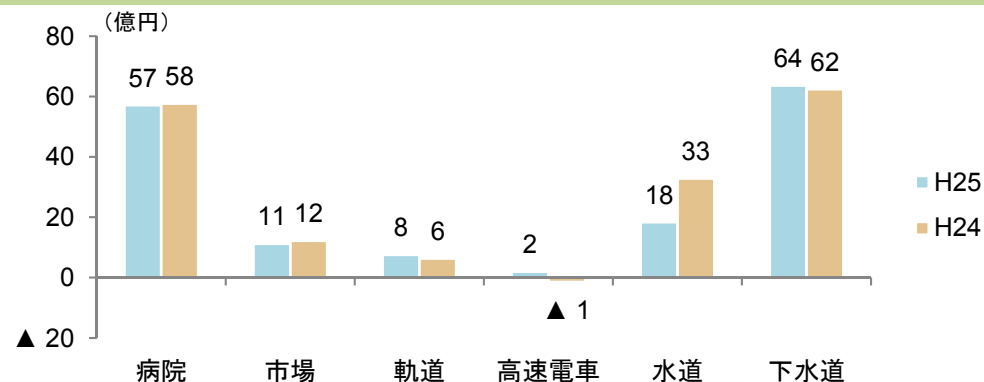
高速電車事業の経営改善の取組み

- 駅業務の完全委託化、ワンマン運転化等の取組により、平成16～25年度の累計で275億円の収支改善を見込む
- 大型の建設事業は終了しているため、企業債残高は減少傾向

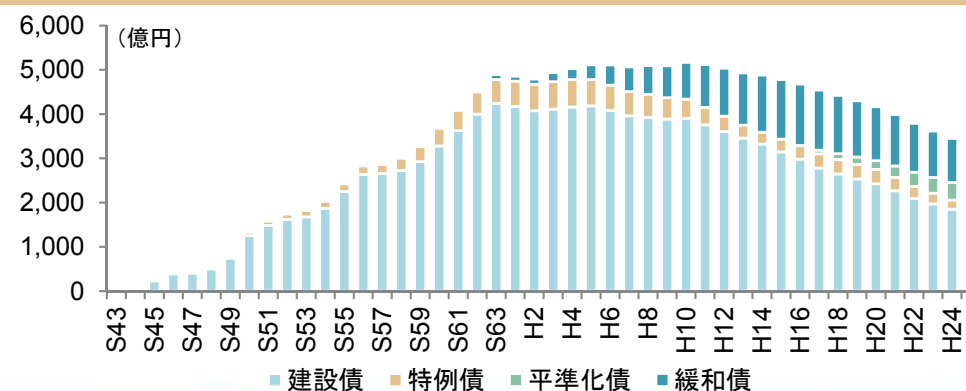
収支の推移



企業会計が保有する資金量(年度末時点)



企業債年度末残高の推移

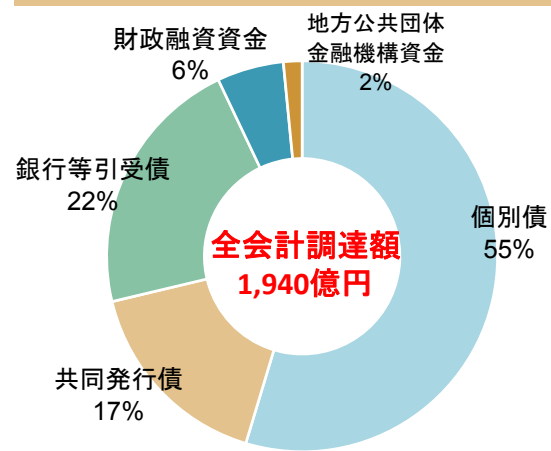


発行実績

- 毎年度1,000億円超の安定した発行を継続
- 多様な年限の発行により、ニーズに合った商品を展開

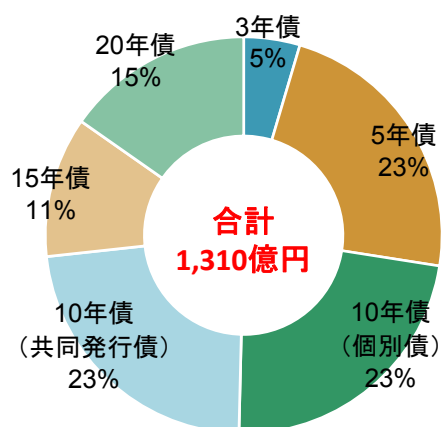
平成25年度市債発行実績

全会計

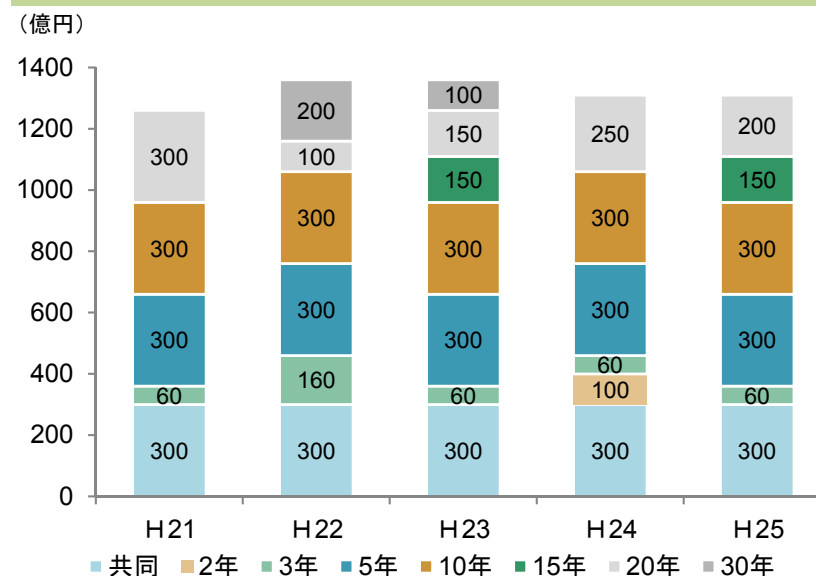


市場公募債 71%

市場公募債年限別発行実績



年度別発行実績(年限別)



年 月	25.6		25.7	25.8		25.11	25.12	26.2		26.3		26.5	26.6	26.7	26.8	26.9
年限【年】	20	5	3	15	10	10	5	3	10	20	5	20	5	3	10	15
条件決定日	6月5日	6月7日	7月5日	8月9日	8月7日	11月13日	12月6日	1月31日	2月7日	3月6日	3月7日	5月16日	6月6日	7月4日	8月8日	8月28日
発行日	6月14日	6月28日	7月30日	8月20日	8月30日	11月29日	12月26日	2月26日	2月28日	3月17日	3月28日	5月27日	6月30日	7月29日	8月29日	9月22日
発行額【億円】	100	100	30	150	100	100	100	30	100	100	100	100	100	30	100	100
利率【%】	1.720	0.31	0.21	1.310	0.80	0.66	0.22	0.16	0.68	1.530	0.20	1.524	0.20	0.14	0.54	0.961
対国債スプレッド	5.0	3.0	4.7	5.5	4.0	6.0	3.0	4.3	6.0	7.0	2.5	6.0	2.0	5.4	3.5	2.5
【bp】																
形式	全国型	全国型	住民参加型	全国型	全国型	全国型	全国型	住民参加型	全国型	全国型	全国型	全国型	全国型	住民参加型	全国型	全国型

発行計画

- 市場公募債は、5年・10年の発行を今年度も継続
- 今年度もフレックス枠300億円を設定し、20年債を中心に発行。市場動向を踏まえ、機動的に発行する予定

平成26年度 市場公募債発行計画

(億円)

年間			平成26年度												
			1Q			2Q			3Q			4Q			未定
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市場公募債	10年債	300	100			100			100						
	5年債	200	100			100									
	フレックス	300	100 (20年)			100 (15年)			100						
ミニ公募債(3年)			60	30			30								
共同発行債		300	70	50	50	80			50						
市場公募債 計		1,160	70	150	150	30	200	80	-	100	100	50	130	-	100

起債運営と信用力

- 外部格付機関(ムーディーズ)より、国債同等の格付けを取得しており、高い信用力を評価
- 安定的な資金調達の実現のため、起債運営のあらゆる局面(IR－発行－債務管理)において、市場との対話を重視した体制を確立

ムーディーズ・ジャパン株式会社

Aa3

(ダブルエスリー)

【アウトルック:安定的】

※ 日本国債と同水準

BCA(自治体固有の信用力):a1

格付けを支える要因

- 継続して減少している債務残高と、公営企業会計を含め、歳出全般における削減への取り組みとその実績
- 中央政府による地方財政への監視および財政調整制度など強固な制度的枠組み

- 平成11年度より東京都内のIR説明会を毎年実施

- 格付け取得
- ホームページの充実

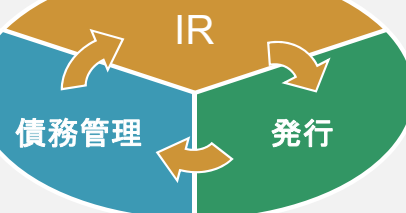
積極的な
情報公開

札幌市の格付け (ムーディーズ:平成26年9月末現在)				
格付	BCA	政令市	都道府県	
		札幌市	静岡市 浜松市	静岡県 広島県
Aa3	a1	堺市 福岡市	福岡県	
	a2	名古屋市 京都市 大阪市	新潟県	

効果的な
IR活動

- 市場ニーズに応える、多様な年限による起債
- 毎年、1,000億円超を継続的に発行

商品性の
向上



計画的な積立と
残高管理

- 積立ルールを遵守した確実な減債基金積立
- 新規発行額の抑制による将来世代の負担軽減

透明性のある
資金調達

- 市場公募債を中心とした、開かれた市場からの資金調達

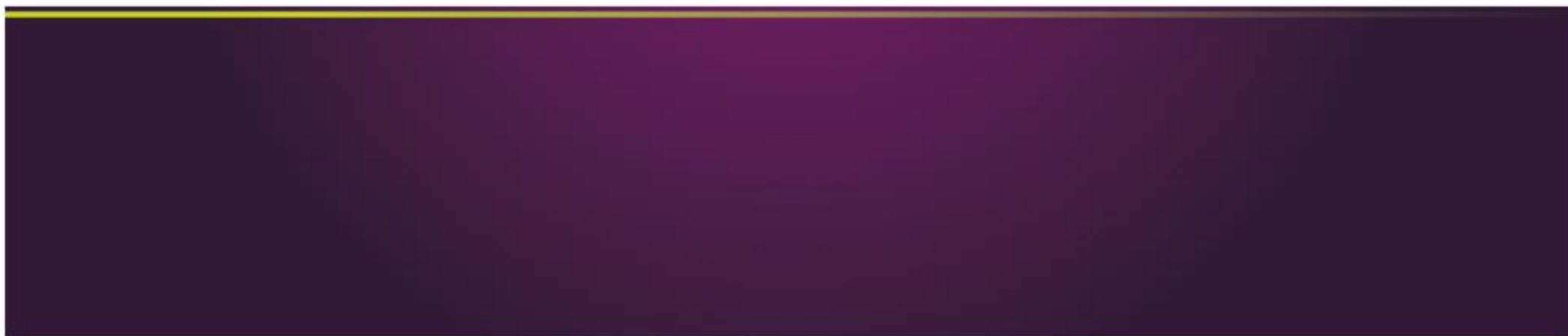
機動性、柔軟性、一貫性のある起債運営

市場と丁寧に対話しつつ、安定的に資金調達

2.



札幌市の概要・主要施策

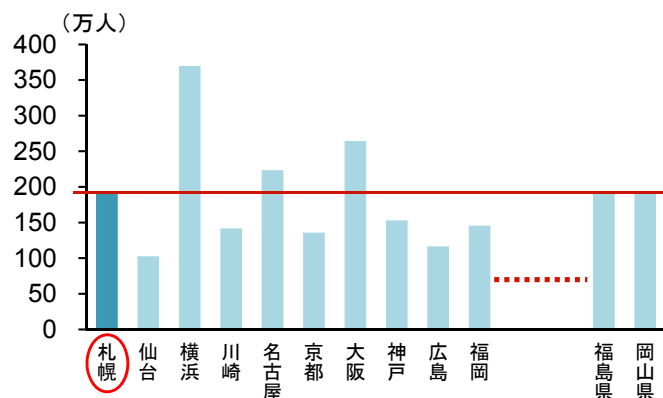


札幌市のプロフィール

人口・経済において中規模県に匹敵にする

人口規模

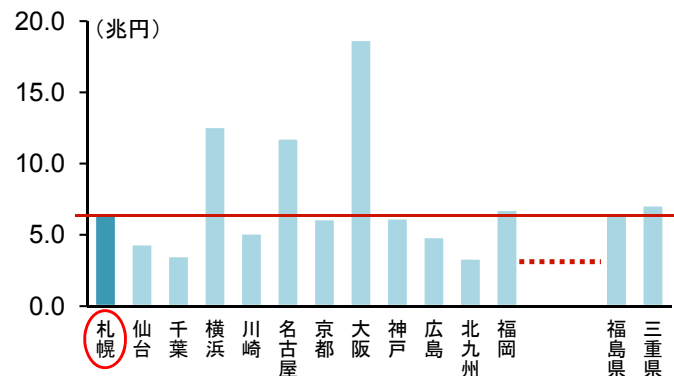
- 人口約193万人(指定都市中4位)
- 人口規模は中規模な県に匹敵



住民基本台帳 平成26年3月31日時点

経済規模

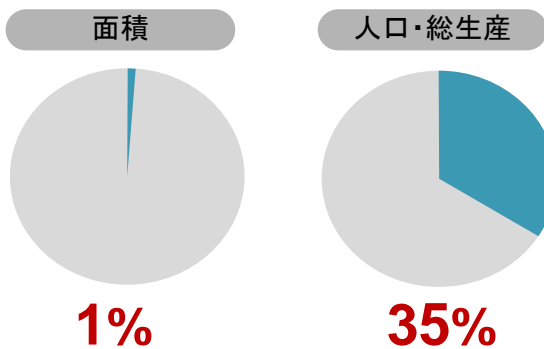
- 域内総生産は約6.4兆円(指定都市中5位)
- 人口と同様に、中規模な県に匹敵する規模



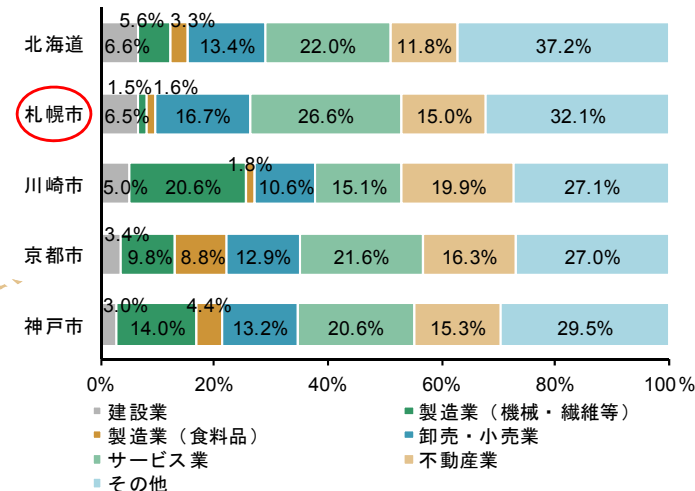
出典: 県民経済計算(平成23年度・名目)



面積の占める割合はわずか1%
人口・総生産は1/3以上を占める



産業の特徴



出典: 県民経済計算(平成23年度、名目)

選ばれるブランド力

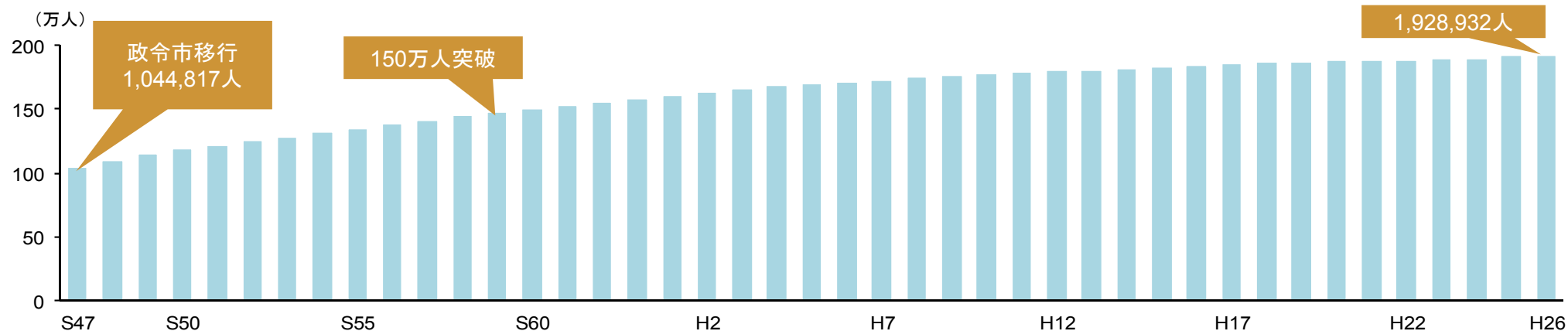
年度	1位	2位	3位
2006	札幌市	神戸市	函館市
2007	札幌市	京都市	横浜市
2008	札幌市	函館市	京都市
2009	函館市	札幌市	京都市
2010	札幌市	函館市	京都市
2011	札幌市	函館市	京都市
2012	札幌市	京都市	函館市
2013	京都市	函館市	札幌市
2014	函館市	札幌市	京都市

出典: 地域ブランド調査2006~2014

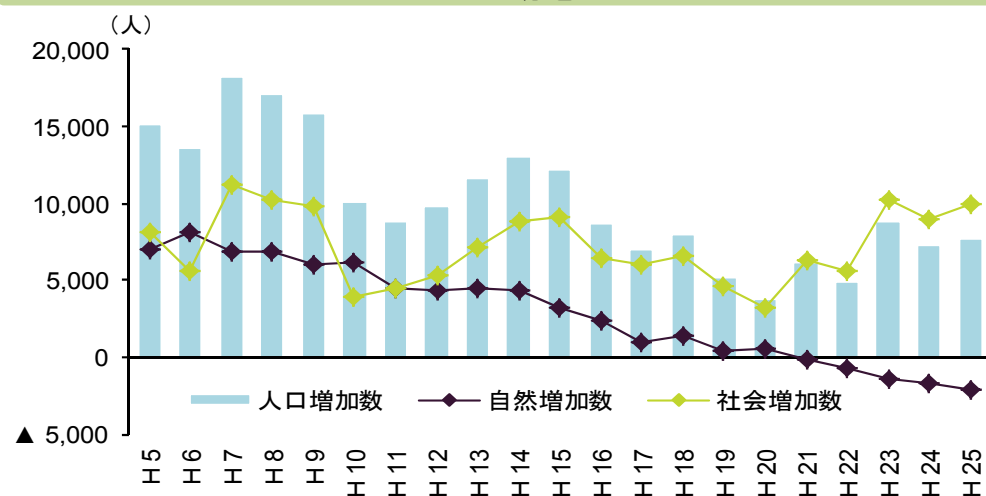
札幌市の人口

- 札幌市の人口は、政令指定都市移行後も、一貫して増加してきたが、平成27年ごろを境に緩やかに減少に転じる見込み
- 平成11年ごろから社会増が自然増を上回りはじめた。最近では、社会増が自然減を補う状況が続いている

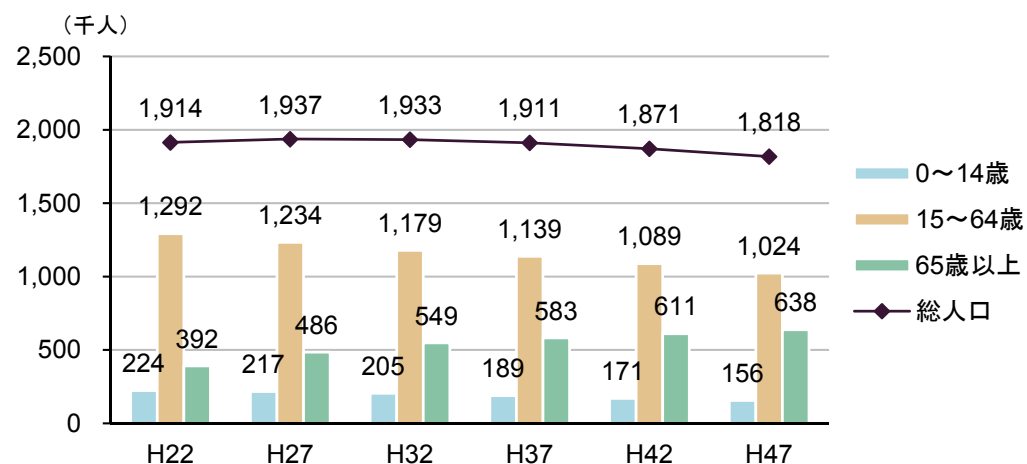
政令指定都市移行後の札幌の人口



人口動態



今後の人口構成



出典：総務省統計局「国勢調査」、札幌市市長政策室企画部企画課

私たちが目指す札幌市の将来 ～まちづくり戦略ビジョンの策定～

- 将来の札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、「新たな創成期」を切り開く都市経営戦略と位置づけた平成25年度～平成34年度の10年間の戦略ビジョンを策定

目指すべき都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

- 新たな価値を生み出す創造とチャレンジ
- 札幌型ライフスタイルの追究
- 世界に誇る環境首都の実現

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

- つながりと支え合いのまちづくり
- 道内市町村との連携と魅力創造
- 世界の中での都市の共生

7つの分野 による まちづくりの 基本目標

地域
地域での支え合いと
つながりづくり

経済
暮らしと雇用を
支える経済の発展

子ども・若者
将来を担う子ども・
若者の健やかな育み

安全・安心
安心して暮らせる
「人にやさしい」まちづくり

環境
次世代へつなげる
持続可能なまちづくり

文化
文化芸術・スポーツに
よる創造性の育み

都市空間
魅力と活力を持続的に
高める集約型のまちづくり

8つの戦略 による まちづくりの 展開

暮らし・コミュニティ

- 地域福祉力創造戦略
- 共生社会創造戦略
- 地域マネジメント創造戦略

産業・活力

- 札幌型産業創造戦略
- 都市ブランド創造戦略
- 産業人材創造戦略

低炭素社会・エネルギー転換

- 低炭素都市創造戦略
- 次世代型エネルギー創造戦略

札幌のポテンシャル① ～食の海外進出～

今後想定される人口減少・超高齢社会の進行に伴う経済規模の縮小から、積極的な外需獲得策が重要

企業の海外展開支援とインバウンドの推進やシティプロモートの連携により相乗効果を創出し、戦略的な外需獲得を図る

国際経済戦略室の設置

道産品の海外進出を後押し!

インバウンド観光客の増加など
外需の獲得拡大を目指す

映像を利用して
道産品・サービスをプロモート!

輸出仕様食品製造支援事業

海外における札幌の食品の販路拡大を図る

■ H26年度補助事業者(一部)

みぞれ菓(同)
札幌カタラーナ



西山製麺(株)
スープ付札幌ラーメン



北の誉酒造(株)
清酒



(株)ソラチ
ソラチのたれ



(株)きのとや
焼きたてチーズタルト



岩田醸造(株)
紅一点味噌

海外プロモーション映像活用事業助成金

海外に向け、映像を活用して商品の販路拡大や観光客誘致を図る

補助対象	札幌市内企業等
補助額 (補助率)	上限1,000万円 (補助対象経費の1/3以内)
対象経費	海外に向けた商品のプロモーションに資する映像制作、海外の映画・テレビ番組等の媒体による映像発信

札幌のポテンシャル② ～企業誘致～

札幌の強み

札幌が従来から持っていたポテンシャル

冷涼な気候や
豊富な水資源

高い食料自給率

大学や短大が集積し
ており人材が豊富

オフィスの賃料
コストが安い

言葉のなまり
が少ない



今後のバックアップ拠点としてのポテンシャル

東日本大震災以降、対するリスク分散の動きの高まり

首都圏から
遠方に位置

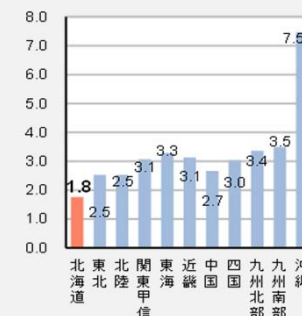
低い
自然災害リスク

優れた
交通アクセス

今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



年間台風接近回数(平均)



出典：(左)地震調査研究推進本部、(右)気象庁

「本社機能の移転」・「食と先端技分野」を狙って取り組みを強化

アクサ生命保険株式会社
2014年、『札幌本社』の設立が決定!!

- 事業継続体制の強化を目的
- 社員120名体制
- 新契約や保険金の支払い、人事などの重要な機能を移転

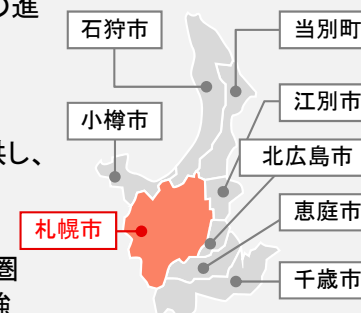


札幌市
City of Sapporo

周辺自治体と一丸となって
さらなる企業誘致を進めています!!

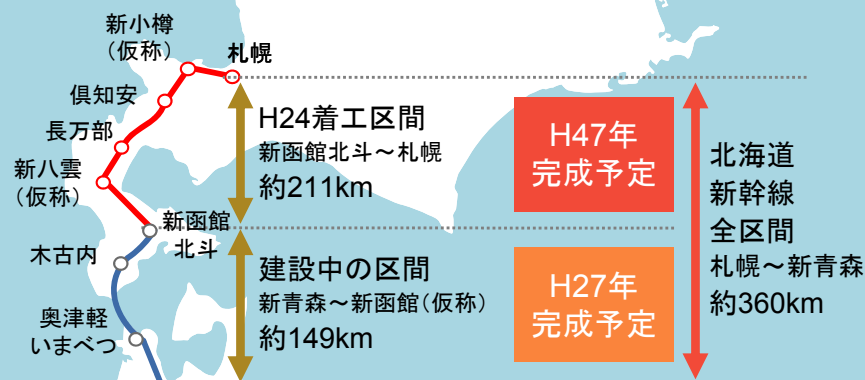
札幌圏設備投資促進補助金

- 札幌市内への進出はもちろん、重点分野（バイオ、再生可能エネルギー、航空・宇宙など）に係る施設の進出であれば、近隣自治体への進出であっても、札幌市も補助します。
- 現在のところ、2件の補助実績があります。
【株式会社ユニシス】 H27.4に稼働予定
特殊技術による高品質な医療用注射針を提供し、事業を拡大。世界シェア3割。
- 【中北薬品株式会社】 H28年中に稼働予定
創業288年の老舗医薬品製造メーカー。中京圏を拠点にしてきたが、今回、事業継続計画の強化を図るべく、北海道へ進出。



札幌のポテンシャル③ ～北海道新幹線の延伸～

本州とのネットワーク強化によって人の流れが活性化



延伸事業費と札幌市の財政負担

- 札幌延伸分の総事業費 1兆 6,700億円のうち札幌市内分は2,100億円。この2,100億円を以下のフレームで負担

貸付料	国負担 (2/3)		地方負担 (1/3)	
	既設新幹線譲渡収入	公共事業関係費	都道府県負担	市町村負担

地方債		一般財源
交付税措置 45%	地方負担 45%	10%

札幌市へは様々な効果があります

(開業初年度)	道央		道南	道北	その他の地域	北海道全体	
		札幌市					
	純増交流人口 (万人)	36.3					33.3
	総消費額 (億円)	560					535
	生産波及効果 (億円)	778					683
全道シェア(生産)	80.8%	70.9%	5.9%	6.8%	7%		

【試算】北海道総合政策部 H25.6

区間	新幹線	航空機
札幌⇄新函館	1時間13分	2時間30分
札幌⇄新青森	2時間07分	2時間50分
札幌⇄盛岡	2時間45分	2時間30分
札幌⇄東京	5時間01分	3時間30分

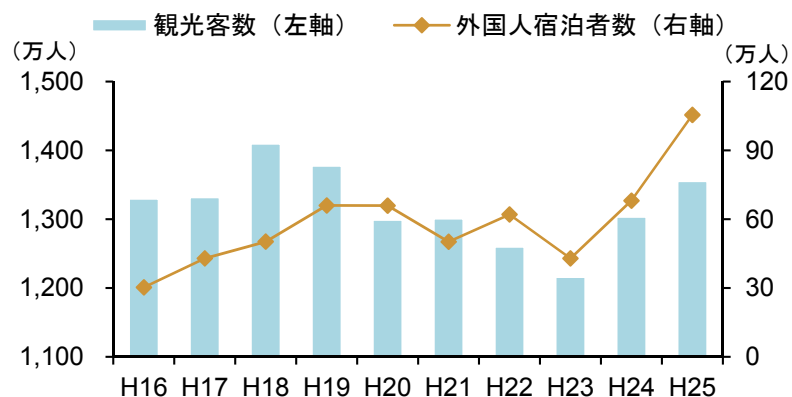
※ 航空機の所要時間は主要駅から空港への移動、空港から主要駅への移動を含む

出典：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

札幌の観光 ～1,500万人を目指して～

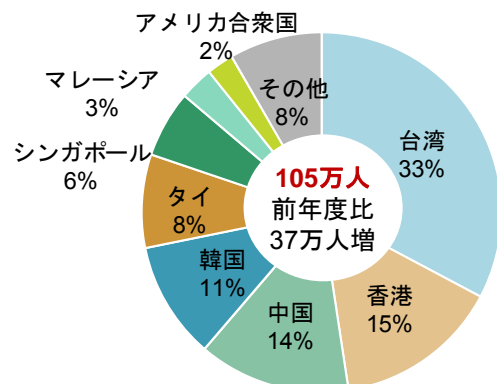
外国人観光客の内訳(平成25年度、発地別)

- 札幌市では『札幌市観光まちづくりプラン』を策定し、平成34年までに年間来客数1,500万人を目指しています
- 海外客のなかでも、特に東南アジア圏を有望市場として、誘致を強化しています



出典:『平成25年度版 札幌の観光』

外国人観光客の内訳(平成25年度、発地別)



出典:『平成25年度版 札幌の観光』



札幌の魅力を海外へ発信



タイをターゲットにしたトップセールス

- 新千歳ーバンコクの定期便スタート (H25.10より毎日就航)
- 訪日ビザの免除(H25.7～)

市長自ら、タイとの経済の繋がり強化・札幌の観光の魅力を発信



札幌を積極アピール (初音ミクのラッピング列車が走行)



シンガポール ラッピングバス運行

- 新千歳ーシンガポール 臨時便就航(12月～1月、17往復予定)に合わせて、初音ミクを起用したラッピングバスによる観光PRを実施

札幌を積極アピール (初音ミクのラッピングバスが走行)



道内連携 ～北海道の発展なくして、札幌の発展はない～

北海道を元気にするために札幌ができること

- 札幌は北海道内各地からいろんな魅力があつまる拠点。札幌の魅力は北海道の魅力そのもの
- 今後、人口が減少して経済基盤が弱まることが想定される中で、札幌と他の地域がお互いの魅力を活用しあう経済循環が必要不可欠
- 全道の市町村に札幌をしっかりと活用してもらうために様々な取組みを実行中

北海道にあるたくさんの魅力資源



どうやって活用
したらいいの？



札幌☆取扱説明書

- 地域PRの場をお探ですか？
- 札幌のこんな人材や研究機関を活用してください！
- さっぽろの街全体がまるごと広報メディア！



6次産業化の推進

つながるネット

- 道内10都市農商工連携マッチングサイト
 - 他の事業者との連携を希望する道内の1次・2次・3次産業者の情報を掲載したデータベース
- 【参加件数】
1次: 13件、2次: 27件、3次: 21件
- <http://www.sec.jp/database10/>

6次産業活性化推進補助事業

- 北海道内の1次産業と、札幌市内の2次、3次産業が連携し、北海道の農水畜産物資源を活用した新商品開発を行う取り組みに対する補助

【採択件数】16件
【採択事例】道産ブランド和牛を使った家庭で食べられる「生ハムユッケ」の開発
(1次産業者: 上村牧場(白老町)、2次産業者: 札幌バルナバフーズ(株)(札幌市))



『結いの虹』

- 道内連携の取り組みを広くみなさんに知っていただき、思いをつなげていただくために、イメージソングを制作しました
- 制作したのは、取り組みの趣旨に賛同してくださった3人組グループ「RAM WIRE」。ボーカルのユーズさんは岩見沢市出身です



札幌市債に関するお問い合わせ

札幌市財政局財政部企画調査課

TEL : 011-211-2216

FAX : 011-218-5147

E-mail: kousai@city.sapporo.jp

URL : <http://www.city.sapporo.jp/zaisei/shisai/>

札幌市役所トップページ



市政情報



財政・市債・IR



当資料は、札幌市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、札幌市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません